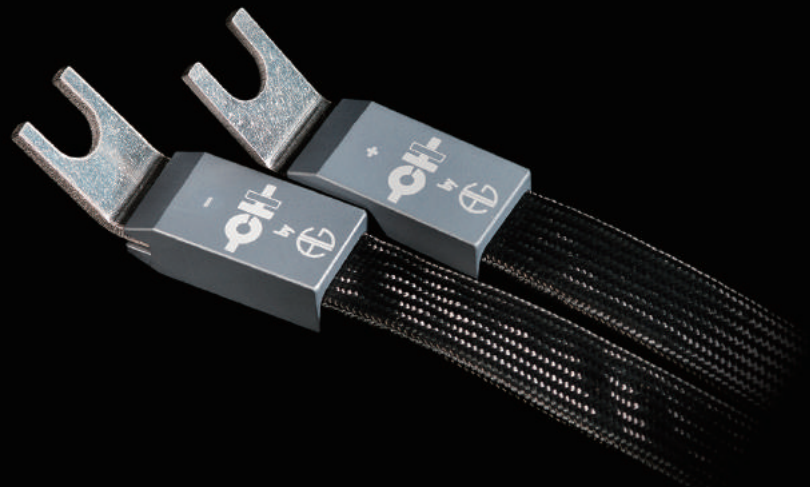




CH Link



Balanced Link



Speaker Link

CH Link

CH Link デジタルケーブルは、768kHz/32bitまでのPCM信号と5.6448kHz/1bitまでのDSDストリーム信号をD1 CD/SACDユニットとC1 D/Aコントローラーの間で伝送させるためのCHプレジジョン専用ケーブルです。

高純度の銅線と低い抵抗値、そして5Gbps Molexコネクタを使用したミリタリーグレードのCH Link デジタルケーブルは、究極のデジタル接続をCHプレジジョン機器間に提供します。電氣的にも機械的にもハイスペックな構造が超低ジッター、そして正確で超ハイスピードなデジタル伝送を実現しています。

オーディオ信号とクロック信号は、一つのデータストリーム中に埋め込まれ、エラーのリスクを減らすだけでなく、最終的にジッター

エラーを大幅に改善しています。

また、この信号はLVDSフォーマットで処理されるため、高速伝送、長距離伝送を可能とし、EMIの低減に寄与しています。

Balanced Link

Balanced Link (バランスドリンク) ケーブルは、アナログ信号を接続するためのXLRバランスインターコネクトケーブルです。

最高のコネクションを機器間に提供するために、CHプレジジョンでは、世界最高のケーブルメーカーの一つ、Argento Audio(アルジェントオーディオ)社と提携。振動減衰に優れた多孔質繊維、無シールド構造の極めて低い抵抗値がもたらす超ワイドレンジサウンド、アニール処理の施された電気伝導率の高い無酸素銅の導体、純銀でカスタムされたピン端子、そしてハンダを一切使用しな

い超高圧圧着技術など、徹底的にチューニングされたインターコネクトケーブルです。

CHプレジジョン製品の機器と同様の美しいガンメタリック仕上げのコネクター部と相まって、システムのポテンシャルを存分に引き出します。

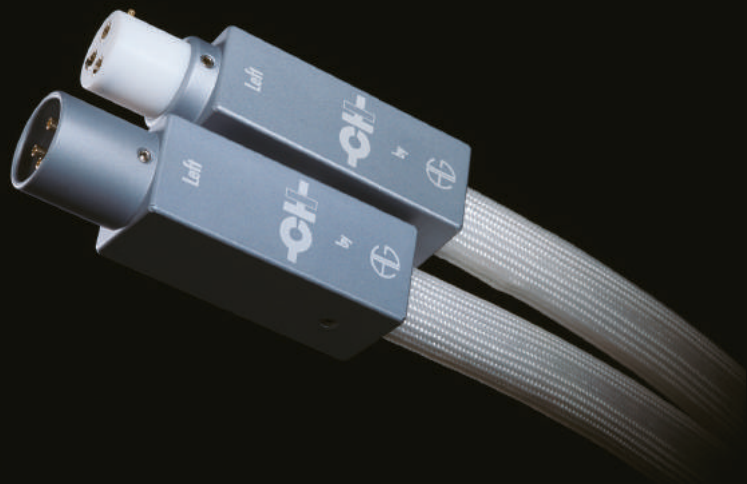
Speaker Link

Speaker Link (スピーカーリンク) ケーブルの根本的な設計概念は、コネクター端子の素材、および優れたスピーカーケーブルとしての構造を慎重に選択しつつ、信号伝達を最適化するだけでなく、振動の影響をメカニカルに減衰させることのできる最新のスピーカーケーブルです。

Balanced Link ケーブル同様、有名なケーブルメーカーであるArgento Audio (アルジェントオーディオ)社に協力を要請。銅線の中に繊維を織り込んだ優れた撚り線構造と、極めて低い抵抗値が、高い信号伝達クオリティを実現しています。銀メッキ処理され

た銅のYラグコネクターは、最高のコネクションを実現するためにハンダを一切使用せず、超高圧で圧着されています。

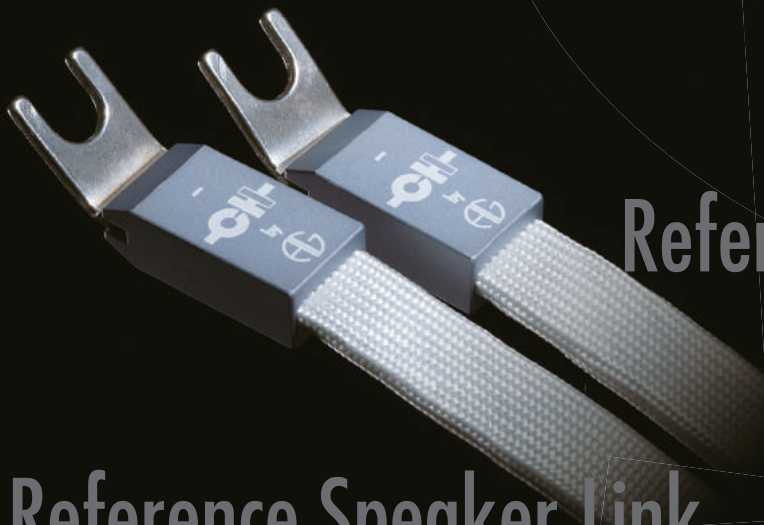
Speaker Link の技術は、1シリーズのパワーアンプの内部のワイヤリングにも採用されています。



Reference Balanced Link



Reference RCA Link



Reference Speaker Link



Reference Clock Link

CH Precision の理念であり野心でもある、嘘偽りのない、純粹無垢なミュージカリティの追及。この理念を念頭に、世界で広く評価されているハイエンドケーブルメーカーのARGENTO AUDIO とパートナーシップを結び、フラッグシップケーブルのReference シリーズを開発いたしました。最先端の技術とノウハウを生かし、外観、音、全てにおいて磨き上げられた至高の逸品です。

Reference LINK ケーブルはCH Precision 製品の性能を最大限引き出す、CH Precision 製品のためだけに考え抜かれた、究極のケーブルなのです。

Reference Balanced Link / Reference RCA Link

スイス製高精度CNCマシンで設計されたアルミ製コネクタはCH Precision専用の完全オリジナル。コネクタはノンレゾナンス設計とし、有害な振動を完全に排除しています。接点は導体と全く同一の素材を用い、また導体との接合にはハンダを一切使用せず、超高压圧着技術を採用。限りなく小さいインピーダンス値としました。コネクタ部分の絶縁には繊維を織り込んだ特殊コンポジットを採用。また、純銀のピンは中空とし、表皮効果による信号のロス

を低減させています。ハウジングは高精度アルミニウム製とし、さらに導体の張力を軽減する独自の機構を搭載することで、ストレスのない信号の伝達に最大限配慮しています。

電気的な絶縁と機械的なダンピングを行うことができる誘電体の採用により、全帯域においてバランスのとれた綿密なサウンドの再生を可能としました。

Reference Speaker Link

コネクタ接点、導線、ハンダ接合部、すべての導体を統一。形状と結晶構造にこだわりぬいた導体を使用し、綿密に長さを合わせた極細導線を撚り合わせた構造とすることで、演奏者の周囲の空気までも再現することを可能にしています。

電氣的側面（銀線の数、形状、ケーブルの撚り）および機械的側面（減衰効果のある銀線間の綿繊維）を徹底的に分析し、アンプ

とラウドスピーカー間の最適な経路を提供。圧倒的な低容量により、電気エネルギーがケーブルに蓄積されてシステムに流れるのを防止するだけでなく、高域の帯域幅拡張と低音の土台に明快さをもたらします。フラットタイプのSpeaker Linkは+と-が完全に独立。優れたユーザビリティを持つだけでなく、音楽の立体感や左右のセパレーションに大きな効果を発揮します。

Reference Clock Link

Reference Clock Link ケーブルは形状と結晶構造にこだわりぬいた99.997%の純銀導体を採用し、綿密に長さを合わせた極細導線を撚り合わせた構造としています。銀線の数、形状、ケーブルの撚りといった電氣的側面、減衰効果のある銀線間のファイバーの採用といった機械的側面からケーブルの設計を徹底的に分析。硬質な樹脂ではなく、柔軟性の高いファイバーで導体を被膜する

ため、振動の減衰効果を発揮します。また、中心導体とファイバーがほぼ非接触の状態であるため、非常に低い誘電率と低静電容量を示します。

コネクタは中空構造の銀製のピンとすることで、導体とシームレスな信号経路を実現。クロック入出力の接続に最適な75ΩBNC同軸ケーブルです。

CH Precision Sàrl | Z.I. Le Trési 6D | 1028 Préverenges | Switzerland | info@ch-precision.com | T + 41 (0)21 701 9040